



# 蒼天の翼



## Program

- ◆PTA報告 ..... 2
- ◆挨拶 ..... 3
  - ・校長 ・PTA会長
- ◆各種行事の感想
  - ・高総体開会式、田植え大会 ... 4
  - ・合唱コンクール、クラスマッチ ... 5
- ◆生徒の活躍 ..... 6
- ◆各種大会結果報告 ..... 7
- ◆ボランティア活動 ..... 8
- ◆お知らせ ..... 9
- ◆進学講演会 ..... 10
- ◆就職講演会、同窓会報告 ... 11
- ◆クラスマッチTシャツ、編集後記 ... 12



日頃のPTA活動に対する会員の皆さまのご協力により、本校PTAの活動が、福井県で開催された全国高P連大会で団体表彰を受けました。来年は岩手県で全国高P連大会が行われる予定になっております。部活動では、箏曲部が全国大会に出場、ソフトボール部が県大会準優勝など活躍しています。就職戦線が間近に迫っています。今後とも生徒たちの活躍を支援していただきますようお願い申し上げます。

## Produced by

PTA調査広報委員会

「蒼天の翼」題字 千葉明美 (H25年度卒業生)

# PTA総会報告

今年は例年よりも少し早く、五月二日(金)、学校の会議室を会場として、平成二十六年年度PTA・教育振興会総会が開催されました。

例年との違いは、時期を早めただけでなく、「授業参観」を新たに取り入れ、生徒たちの普段の授業の様子なども見ていただいたことがあげられます。その結果として当日学校に足を運んで下さった保護者は、一学年五十名(昨年二十名)、二学年二十三名(昨年二十一)、三学年五十五名(昨年二十八名)の計百二十八名(昨年六十九名)となりました。出席率は二十三・四%(昨年十二・二%)と、昨年の倍となりました。特別に役員の方の出席率は五十七・一%となっており、多くの方の協力を得ることができました。

十五時三十分より始まった総会では、会長挨拶、学校長挨拶に続き、議長として二年生の保護者時田さとみさんを選出し、議

## 母親委員会交流会

七月三日(木)、サンセール盛岡で県高P連第十四回母親委員会交流会が開催され、母親委員会担当の藤原麻起子と千葉事務局長が出席しました。

この交流会では、各校の母親委員会の活動内容の紹介や、スマホについて疑問・困っていること・解決策など具体的な提起がありました。特にPTAの自慢できる特色とし

事に入り、

第一号議案 平成二十五年度会務報告  
 第二号議案 平成二十五年度諸会計の決算  
 第三号議案 平成二十六年役員選出  
 第四号議案 平成二十六年事業計画  
 第五号議案 平成二十六年諸会計予算  
 のすべての議案が提案通り承認されました。

特徴的なものとしては、二年間予算化した「震災支援事業費」を打ち切り、新たに平成二十七年に開催される「全国高P連盛岡大会」の積立金として二十五万円を予算化したことがあげられます。来年度も二十五万円を計上し、計五十万円、役割分担や動員等の際の会場である盛岡への移動費等にあてていくことになりました。

また、会長経験者ではなく、副会長経験者にも顧問を委嘱し、「顧問会議(仮称)」を開催して将来展望も含めた多面的な会則の見直しを二年間かけて検討することにしました。

総会終了後、学年懇談会、担任との個別面談が行われました。

て、クラスマッチ(球技大会)の際に保護者の見学も含め、豚汁や飲み物提供(母親屋台村)というのが多くありました。また、健全育成委員会と合同で「登校時一声あいさつ運動」を行っている学校も多く紹介されました。

今後、これらの学校の取り組みを参考にして母親委員会の活性化を進めていく必要を強く感じた一日でした。

## 【県高P連定期総会】

六月四日(水)、サンセール盛岡で県高P連定期総会並びに研究協議会が開催され、菅原良一郎副会長、吉田仁二前副会長、菅原副校長、千葉事務局長が出席しました。

総会では、平成二十五年度会務報告・収支決算、平成二十六年役員選出・活動方針並びに事業計画・収支予算の各議案が承認されました。また、第六号議案として来年の八月に開催される「全国高P連盛岡大会要項」が示されました。

全国大会のメインテーマ「未来図からの風をつかめ」、サブテーマ「新時代を担う君たちと共に」

が確認され、主会場は産業文化センター・アピオ、副会場は盛岡市アイスアリーナを利用することになりました。この大会には全国から約一万人の方々が参加する予定で、県内の各高校・PTAの役割分担も示され、千厩高校は盛岡市立・花泉・大東高校とともに「受付・接待班」として盛岡市アイスアリーナの担当となりました。さらに、千葉弘之PTA会長が実行委員として役員に委嘱されました。

今回の総会では、出席された吉田仁二前副会長が個人表彰を受けられました。また、千厩高校PTAが全国大会団体表彰推薦校として提案されました。

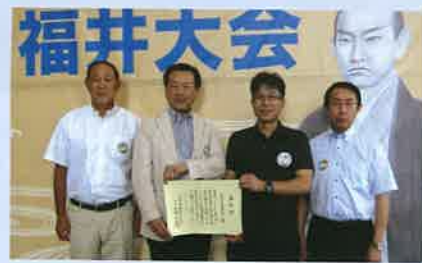
## 【全国高P連福井大会】

「教育と福祉」未来に引き継ぐ知と恵み」をテーマに、第六十四回全国高P連大会が福井県で八月二十二〜二十三日に開催されました。今回の全国大会で団体表彰を受けることから、本校からは千葉弘之会長、菅原良一郎副会長、及川忠理事、入駒校長、千葉事務局長の五名が参加しました。

初日は午前が開会式・全体会と基調講演、午後は移動しての分科会となりました。午前の開会式では、表彰式が行われ、千厩高校PTAも団体表彰を受けました。基調講演は茂木健二郎氏が「今求められる考脳脳科学者からの提案」という演題で講演されました。特に印象的だったのは「個性を尊重するべきで、欠点も個性だ」「新しいことに挑戦し続けることで、若々しい脳を保つことができる」という発言でした。午後はそれぞれがバスで移動し、各分科会に参加しました。

二日目は全体会と閉会式が行われ、閉会式では「来年お待ちしています」という意味で、岩手県参加者がお揃いの黄色いポロシャツを着てデモンストラクションを行いました。

今回特に感じたことは、地元の高校生のすばらしいアトラクションでした。全国トップレベルの吹奏楽演奏、全米優勝したチアリーダーの演技、郷土芸能発表等、岩手の高校生でもできるはずだと思いつつも、「すごい」の一語に尽きるアトラクションでした。





# 千高生に望むこと

校長 入駒 智

保護者の皆様には本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

今年度は一九七名の新入生を迎え、全校生徒五七六名でスタートしました。

本校は今年度も昨年に引き続き「自転車・二輪車安全利用のモデル校」の指定を千厩警察署から受けており、交通安全のルールとマナーを遵守し、無事故・無違反を目指して取り組んでいるところであります。

夏季休業も終わり、まもなく後半戦に入ります。夏休みも終わりましたが、生徒諸君には年度始めに次の三点について話し、奮起を促したところであります。

## 一、学習習慣の確立

高校生の本分は学習することであり、日々の授業を大切にしてください。そのためには教える側だけでなく、教えられる側の準備・努力も求められています。そして授業で得たものを家庭学習でさらに深め、確かなものにする習慣を身につけてほしい。

## 二、自分の進路について高い意識を持つこと

高校卒業後の進路は進学と就職の選択肢があるが、どちらを選択するにしても、早い段階で方向性を決め、具体的な目標を立ててその実現に向けて努力することが必要である。

一人ひとりの能力や適性は異なり、希望も様々であることから、出来るだけ多くの情報やアドバイスの必要であり、そのためには自らが積極的に行動して自己理解に努めなければならない。

## 三、基本的な生活習慣の確立

本校生徒会の大きな目標である挨拶の励行、時間の厳守、端正な服装について一人ひとりが強い気持ちを持って取り組んでほしい。

以上三点について話しました。このことにつきましては申し上げるまでもなく、ご家庭の協力があつて成し遂げられることと認識しております。まさに、教育活動は学校と家庭の協働で成り立つものであります。よろしくお願ひします。

また、今年度の本校の特徴的なこととして、全校生徒の欠席が非常に少ないことが挙げられます。欠席が少ないということは学校全体に活気が出て、盛り上がり、雰囲気がよくなるという効果が期待できます。安易に学校を休まないという強い意識を持つて日々の生活を送ってほしいものです。今後もこの状況が年度末まで続くことを切に願ひしております。

本校は今年度から募集定員が普通科一クラス減となり、普通科三クラス、生産技術科一クラス、産業技術科一クラスの五クラス募集となりました。少子化という影響があるにせよ、魅力ある学校づくりが求められていることに異論の余地はありません。そのためには知・徳・体のバランスの取れた教育活動の質を高め、豊かな人間づくりを目指して行きたいと考えております。

今後も生徒にとって「千厩高校に入学して良かった」と思えるような学校づくりを誠心誠意目指していきますので、保護者の皆さま方ますますのご理解とご支援をよろしくお願ひいたします。



# 地域と共に歩む

PTA会長 千葉 弘之

秋涼の候 会員の皆様方には益々ご壮健のこととお喜び申し上げます。日頃より、PTA活動並びに学校運営に対して、ご支援ご協力をいただき、あらためて感謝を申し上げます。先のPTA総会には、大勢の方にご参加いただきましてありがとうございます。これまでに無い高い参加率であり、今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。

さて、月日が経つのは早いものですから、生徒の皆さんには暑さや忙しさに紛れることなく、自身の目標に向けて修学を重ねてほしいと願ひしています。特に三年生の生徒さんをお持ちのご家庭では、これからが頑張り時になってくることと思います。良き先生方と一緒に頑張り、山仰台にて素晴らしい春を迎えて欲しいと願ひしています。

今年度の「蒼天の翼」につきまして、紙面の充実を図り、見やすい広報紙にしようというところで取り組んでいます。発行時期が例年と若干違いますので、ご理解をお願いいたします。また、必要な情報を提供するために、増刊号を発行することになっています。

これからの時期は千厩祭や、好評をいただいておりますPTA研修旅行に挨拶運動等、我々も参加することが出来る行事が盛りだくさんです。子どもに手がかからなくなってきた分、親や先生方、地域の皆さんと行事等を通して親睦を深めながら情報交流し、千厩高校を中心としたコミュニティの輪を広げましょう。そのことが、生徒諸君の在学中のみならず、卒業後の進路等に大きな広がりが出てくるものと信じております。

少子化により生徒数が減少傾向にあります。このことは、今現在でも徐々に影響が出てきていて、これまで継続できていたことができなくなる等、突然驚くような判断をせざるを得ない状況が見られてきました。そろそろ先を見据えて検討する時期にきています。我々にとつて大切な千厩高校を守っていくためにも、PTAの歴代役員経験者にご協力をいただきたいと考えており、より確かな検討をするため豊かな経験と知恵を拝借したいと思います。先の総会で皆さんからご承認いただきました通り、PTAの組織を活用しながら取り組むというところで、顧問制度の拡充を図り検討の機会を設けます。ここ数年を目標に新たな体制作りを提案し、この地域から見た視点での学校運営安定化と、生徒活動の円滑化を目指します。皆さんからもご意見等お寄せいただき、進めて参りたいと思います。

我が地域は面積が広く決して交通の便が良くありません。修学するためにそれぞれ工夫しながら通学していることと存じます。三年間事故等に遭うことが無いよう互いに気遣い、見守りましょう。不便な地域ほど工夫があり、優秀な人材が育つと言われています。本校の生徒が県内外から評価が高いのは、不便さや他の地域には無いような苦勞を日常的に乗り越えているからだと感じております。大変なことは多々あると存じますが、皆さんと共に千厩高校を中心とした地域のつながりを大切にしたいと思ひます。今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。

# 高総体開会式

前期応援団長 佐藤 恒一



五月二十日に盛岡市の県営運動公園で行われた高総体開会式に参加して来ました。高総体に向けた部活動時間確保のため、応援の練習時間を今年から昼休み時間のみとしました。この取り組みは、今年から始めたもので、前例もないので応援団としてはとても不安でした。昼の練習時間の中に昼食を取る時間を確保したため、短時間で集中して練習を行いました。

開会式当日、晴天にも恵まれ、応援もとても質の高いものになったと思います。私たちが三年生になり、応援団顧問の田中先生の下で、改めるべき事は改め、新たな取り組みも始めました。この一年間で、応援団も大きく成長したと感じています。今回の高総体開会式が成功することが出来たのは、応援歌練習を頑張った一年生と、応援歌練習に協力していただいた先生方のおかげです。そのような方々への感謝の気持ちを片時も忘れず、残りの応援活動、高校生活を過ごして行きたいと思えます。



# 田植え大会

三年生産技術科 菊池 茜



千厩高校では、毎年五月下旬に校内田植え大会を開催しています。大会は一チーム三名で、リレー方式で行い、田植えのスピードを競います。この大会は生産技術科の学習内容や農業について少しでも多くの皆さんに知ってもらいたいという思いから始まり、今年で六回目の開催になるそうです。

今年も普通科や産業技術科の生徒の皆さんや先生方、PTAの方々、地域のロータリークラブの方々に参加していただき、大盛り上がり大会になりました。今年の田植え大会は過去最大の参加チーム数となり、いつものコースでは入らなかったため、距離を短くして行いました。どのチームも団結し、声をかけながら楽しんで田植え競技に参加していました。

私たち農業クラブ役員は作物分会と一緒に数日前からコースや物品の準備をしてきました。当日、うまく運営できなかったところもありましたが、参加した皆さんの協力もあり無事に終えることができました。ありがとうございました。

大会終了後は、役員と有志で苗の補植や手直しを行いました。ルールを徹底することができず、スピード重視になつてしまい、深さや本数がバラバラだったのが反省点でした。来年度は今年の反省を活かし、さらに良い田植え大会になるように工夫をしていきます。

秋にはPTAの方々ともち米の収穫をします。収穫したもち米はPTAの方々を中心となり、千仰祭で来場したお客さんに振る舞う予定だそうです。たくさんの方に来場し、お餅を味わってほしいです。秋がとても楽しみです。



# 合唱コンクール

合唱コンクール実行委員長 千葉 香澄



七月七日(月)に校内合唱コンクールが行われました。クラスマッチから期間が少なく忙しい中、どのクラスも合唱練習に励んでいました。最後の合唱コンクールということもあり、特に力を入れていたのは三年生だったと思います。一・二年生も、三年生に負けじと頑張っていました。

本番当日は、どのクラスも練習以



上の成果が出たのではないかと思います。そんな中、最優秀賞を手に入れたのは三年B組でした。伴奏と合唱のバランスが良く、とても綺麗なハーモニーでした。惜しくも入賞しなかったクラスでも、練習から積み上げてきたクラスの団結力など、合唱コンクールで得たものは大きかったと思います。熱い体育館の中、美しいハーモニーが響きわたり、みんなの心に残る大切な思い出になったことでしょう。

# クラスマッチ

クラスマッチ実行委員長 志田 玲奈



今年のクラスマッチでは、去年の反省を改善したタイムテーブルや、種目の追加など、新しいものに挑戦しました。大変な事の方が多かったですが、とても楽しめました。成功することができました。

六月二十五日、二十六日に向け、私たちクラスマッチ委員会では、五月の終わりから活動を始めました。準備がなかなか進まずに前日を迎え、成功できるかどうか、正直、心配でした。しかし、本番では委員のみなさんがよく動き、ほぼ予定通りに終えることが出来ました。忙しく大変でしたが、今までで一番楽しい委員会活動でした。

委員長として、色々な意見をまとめること、先頭に立ち生徒を動かす大変さを学びました。最後になりましたが、先生方や実行委員のみなさん、友人たちなど、たくさんの方々のお陰で行事を成功する事が出来ました。本当にありがとうございました。



# 生徒の活躍

## 三年間の思い

ソフトボール部 藤野 文香



がむしゃらに、仲間と共に厳しい練習を乗り越えてきた三年間で、チーム全員で「死ぬ気で勝つ」と誓い挑んだインターハイ県予選でしたが、決勝で敗れ、二位となってしまいました。上位二チームに出場権が与えられる東北大会では、初戦敗退。私達の夏は終わりました。

負けたことが悔しいのは当然のことですが、今は「やりきれた」という充実感でいっぱいです。また、保護者の方々や先生方、コーチ、仲間、応援して下さっている地域の方々の支えがあったからこそ、ここまでこれたと思っております。本当にありがとうございました。

今まで何度も壁にぶつかり、辛い日々もありましたが、それを乗り越え、仲間と共に歩んできたこの三年間は、かけがえのない宝物です。後輩たちには、最高のチームを築き、強い精神力を持って、私たちが叶えられなかった全国制覇を達成してほしいと思います。



## 岩手県選抜チームとしてプレーして

ソフトボール部 及川 聖菜



私たちが岩手県選抜チームは、花巻東高四名、一関一高二名、専大北上高一名、大東高一名、千厩高五名の計十四名で、ミニ国体優勝を目指し練習をしてきました。

八月七日から十三日にかけて、三重県、埼玉県へ遠征に行き、各県の強豪校と試合をしてきました。レベルの高い試合では、個々の力と、ここぞという時の勝負強さが勝敗を分けると改めて実感し、個々としてもチームとしても課題を明確に出来たよ長期遠征となりました。

八月二十三日から行われたミニ国体本番では、一回目の秋田選抜との試合は惜しくも、〇対一で負けました。次の日の山形選抜との試合は、負ければそこで終わり。去年は、コールド負けした相手でもあったので、その悔しさを胸に試合に臨みました。初回に点数を入れたものの取り返され、同点で迎えた八回表、タイムリーカーに入り、一点を取りましたが八回裏に打たれサヨナラ負けという結果で終わりました。長崎で行われる国体出場は掴めませんでした。岩手県代表として堂々としたプレーをすることが出来て良かったです。

最後に、応援して下さいました先生方、保護者の方々、生徒のみなさん、ありがとうございました。

## 三年間を通して

男子バレーボール部 須藤 亮浩



私たちが男子バレーボール部は、岩手県高等学校総合体育大会に出場し、ベスト16という成績を残しました。新人戦、春の高校バレーと、継続してベスト8に進んでいただけに、応援して下さいたい保護者の方々には本当に申し訳なく思っています。

敗戦した相手の花巻北高校は、粘りのバレーをするチームで、レシーブ力、ボールをつなげるという意識が高く、その差が最後に勝敗を分けたと思います。

今年の三年生は、人数が多く、個性的なメンバーがそろっていて、毎日の部活動が本当に楽しかったです。バレーボール経験のある指導者がいない中、自分たちで練習メニューを考え、試行錯誤してやってきました。結果は残念でしたが、この三年間は、私の人生にとって大きな財産となりました。

ここまで部活動に打ち込めたのは、先生方、保護者の皆様のおかげです。応援して下さい、本当にありがとうございました。



## 最後のステージ

箏曲部 千葉 侑貴



私たち箏曲部は、七月三十日、三十一日に茨城県で開催された全国高等学校総合文化祭日本音楽部門に出場しました。

全国大会までの練習では、一年生の指導や全員の技術表現の向上に努め、難曲である『箏四重奏曲』に挑戦し、レベルを上げられるように頑張りました。コーチの佐藤テル子先生や顧問の先生方のご指導のもと、一人ひとりが練習に励むことが出来ました。

七月三十一日は、一、二年生にとつては初めての全国大会で、三年生にとつては二度目の全国大会であり、最後の演奏でもありました。当日は先生方をはじめ、十八人全員が団結して発表に臨みました。緊張して、少しのミスはありましたが、今までの練習の成果を九分間に込め、堂々と発表することが出来ました。また、他の学校の演奏を聴き、多くの素晴らしい高校生とともに全国高総文祭に出場できたことを誇りに思います。

今まで一緒に頑張ってきた部のメンバーと、たくさん迷惑をかけてしまっても最後まで私たちが支えて下さったコーチや顧問の先生方に感謝しています。



### 次に繋げる

写真部 二瓶 鈴菜



私は、七月二十七日から三十日まで開催された、全国高等学校総合文化祭写真部門に参加しました。

開会式後の講評会では、入賞作品について審査員の先生方から講評がありました。素晴らしい作品ばかりで圧倒させられました。交流会では全国から集った高校生カメラマンと自分の作品について熱く語り合うといった有意義な時間を過ごしました。みんなそれぞれに自分の作品に思い入れがあり、作品に対する真剣な態度が伝わってきました。全国高等学校総合文化祭の最後の日には、講師ハービー山口先生をお迎えしてお話をいただきました。ハービー先生のお話には、普段の生活を改めて見直させられる事柄や写真を撮る上での心構えもあり、大変勉強になりました。



# 各種大会結果報告

## ＜運動部＞

●第66回岩手県高等学校総合体育大会 各種競技 結果

### 【陸上競技】

男子 400mハードル 三浦 龍 7位

女子 4×400mリレー 菅原 愛佳 準決勝進出

やり投げ 三浦 聖美 9位

### 【バスケットボール】

男子 1回戦 千厩 54-69 岩谷堂

女子 1回戦 千厩 46-64 水沢商業

### 【バレーボール】

男子 2回戦 千厩 2-11 盛岡第四

3回戦 千厩 1-12 花巻北

女子 1回戦 千厩 2-11 遠野

2回戦 千厩 0-12 花巻南

### 【卓球】

男子学校対抗 千厩 0-3 宮古工業

女子学校対抗 千厩 1-3 水沢商業

### 【ソフトテニス】

男子団体 千厩 1-2 宮古

女子団体 1回戦 千厩 2-1 盛岡第一

2回戦 千厩 0-3 高田

### 【サッカー】

千厩 1-3 高田

### 【バドミントン】

男子団体 1回戦 千厩 3-0 花泉

2回戦 千厩 0-3 前沢

女子団体 1回戦 千厩 3-2 大東

2回戦 千厩 0-3 前沢

### 【ボクシング】

佐藤恒一 2回戦進出

小山大輔 2回戦進出

### 【剣道】

男子団体 予選リーグ敗退

女子団体 予選リーグ敗退

女子個人 遠藤 香佳 3回戦進出

### 【弓道】

男子団体 予選敗退

女子団体 ベスト16

女子個人 菅野 美穂 予選通過



### 【ソフトボール】

2回戦 千厩 9-0 北上湘南

3回戦 千厩 9-1 盛岡農業

準々決勝 千厩 5-4 久慈東

準決勝 千厩 4-13 大東

決勝 千厩 0-3 花巻東

準優勝 (東北大会出場)

### 【ワンダーフォーゲル】

男子団体 11位

### 【柔道】

男子団体 予選リーグ敗退

女子団体 千厩 1-2 一関第一

女子個人 立身 美穂 48kg級 ベスト16

吉田真由香 57kg級 ベスト16

### ●第96回全国高等学校野球選手権大会

【硬式野球】

1回戦 千厩 2-14 花巻北

### ●平成二十六年国民体育大会東北ブロック大会兼

第41回東北総合体育大会

### 【ソフトボール】

及川聖菜、熊谷華子、佐藤萌、志田鈴奈、村上舞穂 (岩手県選抜チーム)

## ＜文化部＞

### 【書道】

●第12回岩手県高校書道作品コンクール 奨励賞 上野 華奈

●第10回岩手日報高校書展 入選 菅原 綾、畠山 未歩

●第19回全日本高校・大学生書道展 優秀賞 菅原 綾、畠山 未歩

### 【吹奏楽】

●全日本吹奏楽コンクール県南地区大会 金賞

●平成26年度全日本吹奏楽コンクール岩手県大会 銅賞

### 【写真】

●第38回 全国高等学校総合文化祭茨城大会 写真部門 二瓶鈴菜「夏」 文化連盟賞

●第38回 全国高等学校総合文化祭茨城大会 【箏曲】

●第38回 全国高等学校総合文化祭茨城大会 日本音楽部門 文化連盟賞

### 【囲碁将棋】

●第38回文部科学大臣杯全国高校囲碁選手権大会 団体戦 第6位

●第36回岩手県高等学校将棋大会 個人戦B級 第2位 千葉 博樹

●第36回岩手県高等学校将棋大会 団体戦B級 第8位



# いわての復興教育に関わる校外学習

八月二十一日(木)、二十二日(金)に、一年生全員と担任団が南三陸町志津川で行われた復興教育プログラムに参加してきました。一日目は、普通科、二日目は生産技術科・産業技術科の生徒が参加しました。

本校では、震災後、生徒有志と一年生全員が、被災地である陸前高田市にバスで行き、泥出しや清掃のボランティア活動をしてきました。今年も、五月に有志が陸前高田市でボランティア活動をやってきました。

さらに今年は、一回のボランティア活動にとどまらず、将来を見据えた防災や安全について考え、今後の復興のあり方や地域のあり方について考える人材育成のために、一年生全員が南三陸町の復興教育プログラムを受講しました。

南三陸町は、東日本大震災で死者六一一人、行方不明者二七三人、町全体の六割にあたる家屋が流出する被害に遭いました。そして現在は、復興教育の様々な体験学習プログラムが、町を上げて行われています。

本校では、「語り部のガイドつきバスタワーと、「復興と街作り」講演、ワークショップに参加しました。生徒たちはタブレット(県から借用)で写真を撮ったりしながら、真剣に学習しました。

今回の校外学習の様子は、十月の千秋祭で展示しますので、どうぞご覧下さい。

## 【南三陸町復興教育プログラムワークショップ】

体験学習後、三つの点について、生徒全員が考察しました。一部を紹介します。

一、災害時における日頃の備えについて、学校・家庭・地域では日頃からどのような備えをしておけばよいか、校外学習を通して考えたことをまとめなさい。

学校では、スムーズに避難が出来るように避難訓練を行ったりすることが大切だと思います。家庭では、まずバラバラになつてしまった時の事を想定し、合流する場所をあらかじめ決めておく、連絡手段を考えておく

ことが必要だと思えます。地域では、災害時には、災害時にどこに避



語り部の話を聞く

難するか、またその場所が本当に安全であるかを考えることが大切だと思います。また、食料、水の備蓄も必要です。

二、自分の住む町について、住人としてどのような町づくりをしていきたいですか? 校外学習を通して考えたことをまとめなさい。

自分は、今住んでいる町を楽しく活気があふれていて、利便性に富んだ町にしたいです。そのため地域住民一人ひとりが、ちゃんと意見を持つことが大切だと思います。また、その意見を聞き入れ、実現する環境が整っていることが重要だと思います。



津波被害のため閉校になった中学校

三、南三陸町の復興教育プログラムに参加しての感想をまとめなさい。

今回の講演では、たくさんの方の話を学びました。佐々木さんの話では災害にどう対処すべきなのかを聞きました。災害の前にちゃんと対策をとっておくこと、そして「もうだめだ」と思った時にもあきらめないことが大事ということでした。

その後の及川さん、工藤さんからもたくさんの方の話を聞きました。お二人は災害の後、二年間、観光について勉強し、どうしたら観光客に楽しんでもらえるか考えたそうです。その中で始めたのが、内陸から来た人に「漁業体験」をさせる等の活動だそうです。このように、どうしたら人を楽しんでもらえるかを考え、町を活性化しようとする姿勢が大事だと思います。



▲南三陸ポータルセンター前広場にある切り子ボード

▼復興への祈りを込めた「切り子」を紹介する宮司の工藤さん





# ボランティア活動を通して

三年C組 小山小百合



五月三十日、ボランティアを希望する生徒九十三名が、陸前高田

市広田町でボランティア活動を行ってきました。今回は広場の草刈りという内容でしたが、行く前はどんな場所であんな作業をするのか分からなかった

ので、少し不安もありました。実際に作業を行った所は、海の近くなど危険な所ではありませんでしたが日射しが強く、上下長袖での作業は思ったより体力を使いました。午前から作業を始め、休憩を挟みながら活動をしていきました。最後は草で覆われていた広場を、みんなで綺麗にするこ

とができました。今回、陸前高田市を訪れてみて、被災地の現状を知ることができました。震災から三年が経過した今でもまだ、手つかずの場所もあり、復興の大変さを感じました。しかし、今回の活動で一人ひとりの力の大きさや、ボランティアの大切さを改めて学ぶことができました。一日でも早い復興のために、今後もこのような活動があれば参加していきたいと思えます。



## 平成二十六年度「千厩祭」開催のお知らせ

- 一、期日 平成二十六年十月十二日(日)
- 二、時間 一般公開 九時半〜十五時
- 三、テーマ 『躍動〜ひろげよう僕らの思い〜』
- 四、その他 P T A イベント餅つき等あり

### 母親委員会研修会

- ブラバンアクセサリー作り講習会 **参加者募集**
- 第一回…九月十八日(木) 十八時半〜 山仰館
- 第二回…九月二十五日(木) 十八時半〜 山仰館

申込締切 九月十二日(金)まで

◎担当…総務課 三好、藤原(麻)



## 平成二十六年度 千厩高校 P T A 研修旅行

八幡平荒屋新町商店街「ぶらっと一日体験工房」  
安比グランドホテル「安比牧場 B B Q ・買い物」

### 参加者募集

- 一、期日 平成二十六年九月二十一日(日)
- 二、目的地 八幡平市方面
- 三、行程 集合七時四十五分 千厩高校

(8:00) 千厩高校  
 ↓  
 (9:45~10:00) 岩手山サービスエリア  
 ↓  
 (10:30~12:30) 荒屋新町商店街ぶらっと一日体験工房  
 ↓  
 (13:00~15:00) 安比牧場 B B Q ・買い物  
 ↓  
 (16:10~15:10) 北上金ヶ崎 P A  
 ↓  
 (17:30) 千厩高校

### 四、参加費 お一人 三千円

\*ご夫婦で参加される場合は お二人で五千元  
五、申込み・集金・締切 九月五日(金)まで

### 六、定員 四十名

\*申し込み用紙と参加費をクラス担任までご提出ください。  
(希望する体験工房のコース番号を記入)  
※定員になり次第締め切ります。  
◎担当…総務課 小野寺、瀬川

## 進路講演会報告 = 進学講演会

7月5日(土)に3年生の進学を希望している生徒、保護者を対象に進路講演会が実施されました。講師は、教育未来研究会「そうぞう」の村上育朗先生です。村上先生は、高校教員として長年、岩手の教育に尽力され、その後、全国の高等学校、各種研修会で年間100回以上、教育講演会をされている進路指導のエキスパートです。先生の著書に『心を動かす教育論:我々の前にいるのは、生徒・子どもではなく、「未来」である。』(学研)があります。

保護者向けに、高校生の親としてなすべき次のような8つの内容が話されました。保護者のみなさんは、いくつできているでしょうか。チェックしてみてくださいはいかがでしょうか。

### 【高校生の親としての『旬』・高校生の親としてなすべきこと】

- ①食べることと睡眠をしっかり保証する
  - ・毎日の食事を準備し、しっかり食べさせる・食事の意味、食事を共にする意味を教える
  - ・睡眠の重要性を教える
- ②凡時徹底
  - ・服装、礼儀、部屋の整理整頓をしっかりさせる
  - ・生きていく上での基礎、基本の確立させる
- ③働く喜び・楽しさ・素晴らしさを身を持って示す
- ④進路関係の情報を知る
  - ・保護者会や進路関係などの講演会に積極的に参加する
  - ・学校任せにするのは学校を信頼することではない
- ⑤将来の展望(生き方・職業)を考えさせる
- ⑥話し合いは本音をぶつける。注意点は「私はこう思う。あなたは どう思う?」
  - ・子供と対立した時は、我慢して見守る
- ⑦急いで事はし損じる・あせらず、あわてず、あきらめず(三ズ主義)
- ⑧一日一生=一日一笑

震災の日、朝、ケンカしたまま出かけ、二度と会うことができなかつた人がいます。前の晩ケンカしても、朝、学校に笑顔で送り出してやるのが、子供のいい一日のスタートにつながります。

先日発表された全国学力テストでは、秋田県が全ての分野で平均点全国一位になりました。その背景には、本人の能力や学校での基礎基本の学習だけでなく、家庭での食事、睡眠、手伝い、家庭学習など、当たり前のことをしっかりやるのが、学力を伸ばす土台になっているということが言われています。みなさんも、これらのことについて、振り返って考えてみてはいかがでしょうか。

生徒向けには、受験勉強の仕方や時間の有効な使い方、心構えなどについてお話していただきました。以下、生徒の感想を一部抜粋します。

●平日(勉強)3時間では足りないことに驚きはあった。しかし、平日5時間、休日11時間やれないことはないと思った。休日11時間はずっと家にいればできる。平日5時間については、すき間時間と早寝早起きを意識すれば毎日できると思った(具体的には夜3時間、朝2時間)。限られた時間を大切に、また有効に使っていきたくと思った。講演を聞き、ぜひ「自分を変えていきたい」と思った。



# 進路講演会報告 = 就職講演会

5月10日(土) ジョブカフェ関センター長、金野馨氏をお招きし、就職希望の生徒・保護者のみなさんを対象とした講演会を実施しました。進路希望の実現に向けて何をすべきか、また、高卒就職に関する最新情報をお話ししていただきました。最後に、進路指導課長より就職指導の日程について確認をしました。毎年実施しているものですが、この講演会を境に、「これから就職活動だ。いよいよだ。」というふうに生徒や保護者のみなさんの意識が変わるようです。是非、多くの保護者のみなさんに参加していただきたいと思います。

## ◆保護者アンケートより

### ①今回の企画について

大変参考になった(45%) 参考になった(55%) 参考にならなかった(0%)

### ②進路について子どもと相談していますか?

よく相談している(36%) 相談したことがある(64%) 話したことはない(0%)

## ◆保護者の感想より

●新卒就職での正規雇用の大切さなど、講演を聞いて実感することもしばしばありました。上の子どもも正規就職したものの転職の相談もされ、しぶしぶ2年以内で職を辞めたりで、その後は正規での職につけなく、非正規での生活の繰り返しです。できるだけ、希望する職選び(内容を重視)をしながら決めたいです。



並びに千厩高校同窓会関東支部懇親会が行われました。  
午前中は、高校の企画による新卒者への激励会でした。千厩高校からは、校長、副校長、進路課長、旧担任二名が参加しました。来賓として関東支部長の村上和男様をお迎えして、ご挨拶も頂戴いたしました。十五名の新卒者が参加し、それぞれ近況報告をしてくれました。充実した学生生活を過ごしている者、仕事に苦労しながらも懸命に日々を過ごしている者、仕事にやりがいをもつけ充実した日々を過ごしている者、それぞれの東京での生活を聞きながら、新しい場所で成長しつつあ



平成二十六年六月十五日(日)、上野精養軒において、関東地区新卒者激励会

## 関東地区新卒者激励会並びに千厩高等学校同窓会関東支部懇親会報告

多田 江利子

る姿に安堵しました。  
午後は、同窓会関東支部懇親会に十四名の新卒者と共に参加いたしました。菅原同窓会事務局長(副校長)をはじめ約三十名の大先輩の方々と、おいしい料理をいただきながら、懐かしい歌を歌ったり、語り合いながら楽しい時間を過ごしました。最後に新卒者を代表して、熊谷美芹さんがお礼の言葉を述べました。「激励会をしていただきありがとうございます。皆さんからいただいた激励を胸に、社会人として頑張っていこうと思います。」  
それぞれの場所で一生懸命頑張っている新卒者の姿に感動しました。たくさんの方々からいただいた言葉を励みに、これからますます活躍してくれると信じています。



**クラスマッチTシャツ&クラス旗**

- 3 A
- 3 B
- 3 C
- 3 D
- 3 E
- 3 F
- 2 A
- 2 B
- 2 C
- 2 D
- 2 E
- 2 F
- 1 A
- 1 B
- 1 C
- 1 D
- 1 E

・総合優勝：3C

**編集後記**

◆送り盆を過ぎて、急激に朝晩の冷え込みを感じるこの頃ですが、四月に一九七名の新入生を迎えてスタートした今年度も、早、五カ月が経過しました。今年のPTA総会は授業参観との同時開催が功を奏し、例年の二倍の参加率となりました。小・中・高と子どもたちの成長に対して、PTA行事への参加率は反比例になる傾向は否めませんが、生徒の皆さんにとって、高校の三年間は貴重且つ大事な時期です。日々の学校生活を通じ、着実に成長するように応援していきたいと思えます。それらを伝え、そして今後、益々のPTA活性化の架け橋になる事を、この「蒼天の翼」に想いと期待を込めて編集後記といたします。

◆「蒼天の翼」第三十七号発行にあたり、ご協力いただきました皆様へ感謝申し上げます。今回は、裏表紙に「クラスマッチTシャツ」の写真を載せてみましたがいかがでしょうか。「個性」が出ていると思いませんか？「個性」に流される事なく、「感性」を磨き「個性」を活かせる千高生に期待しています。

調査広報委員 小林 一成